

図書館ビンGO！

埼玉大学経済学部経済学科 齋藤ゼミナール

政策概要

手段

除籍本を利用した「まちじゅう図書館」の設置
ゲーミフィケーションを用いた「ビンゴゲーム」の導入



目的

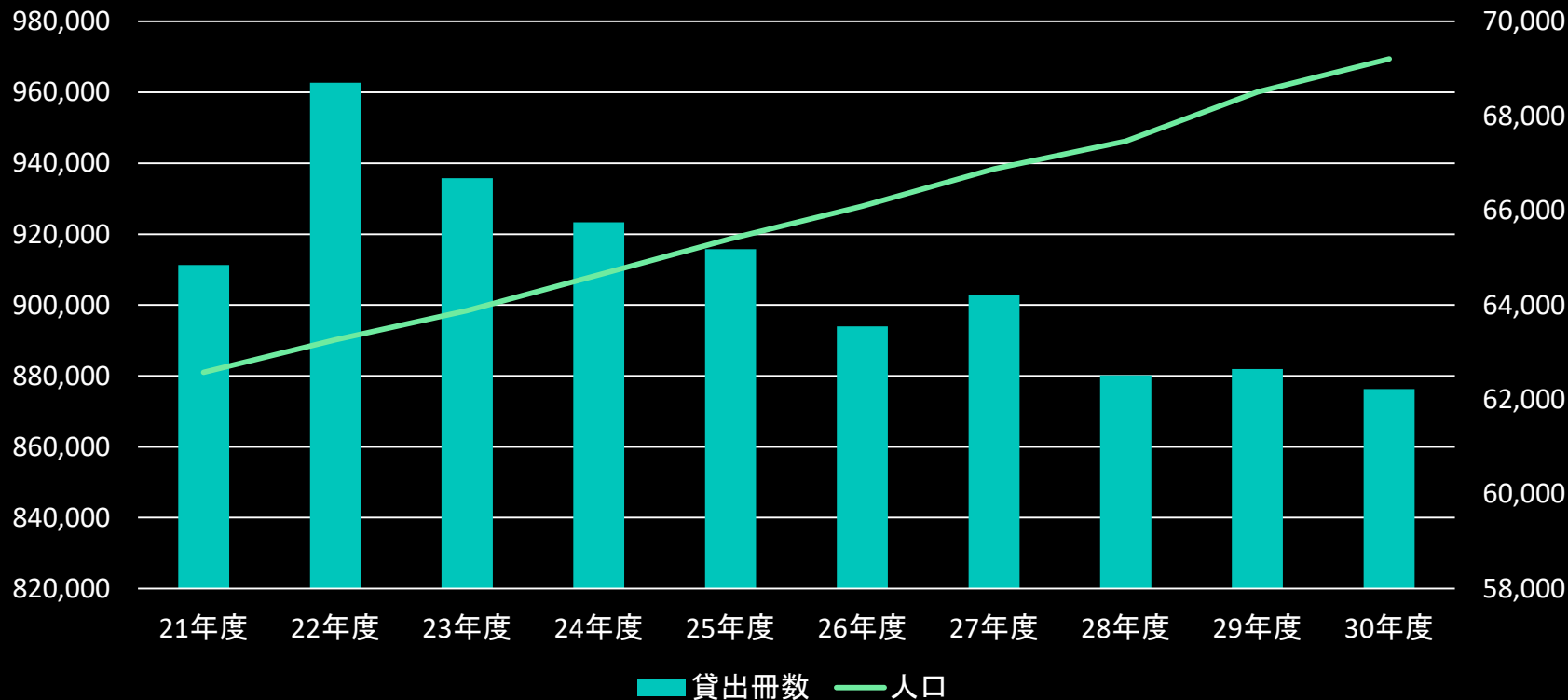
- ①ゴールデンエイジの読む能力の向上
- ②読書の習慣化
- ③公立図書館の利用者数の増加



1. 現状分析

人口と貸出冊数の変化(過去10年間)

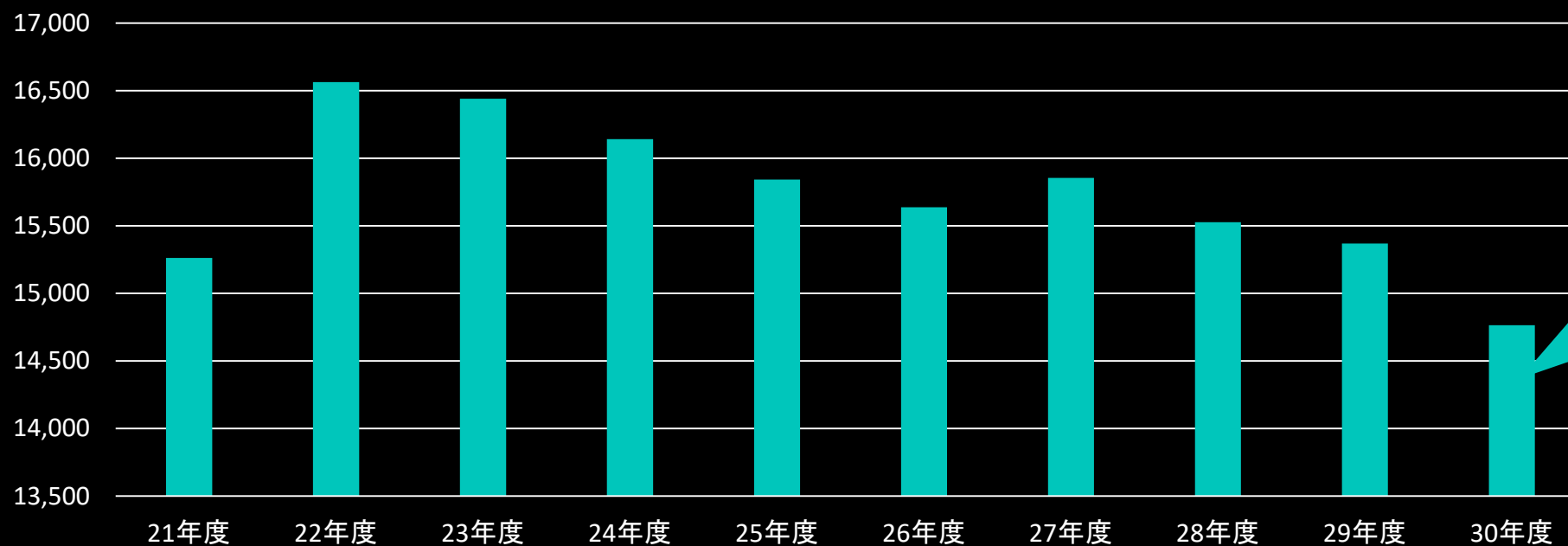
人口と貸出冊数



人口は
増加、
貸出冊数は
減少傾向

図書館の市民登録者数の減少

市民登録者数

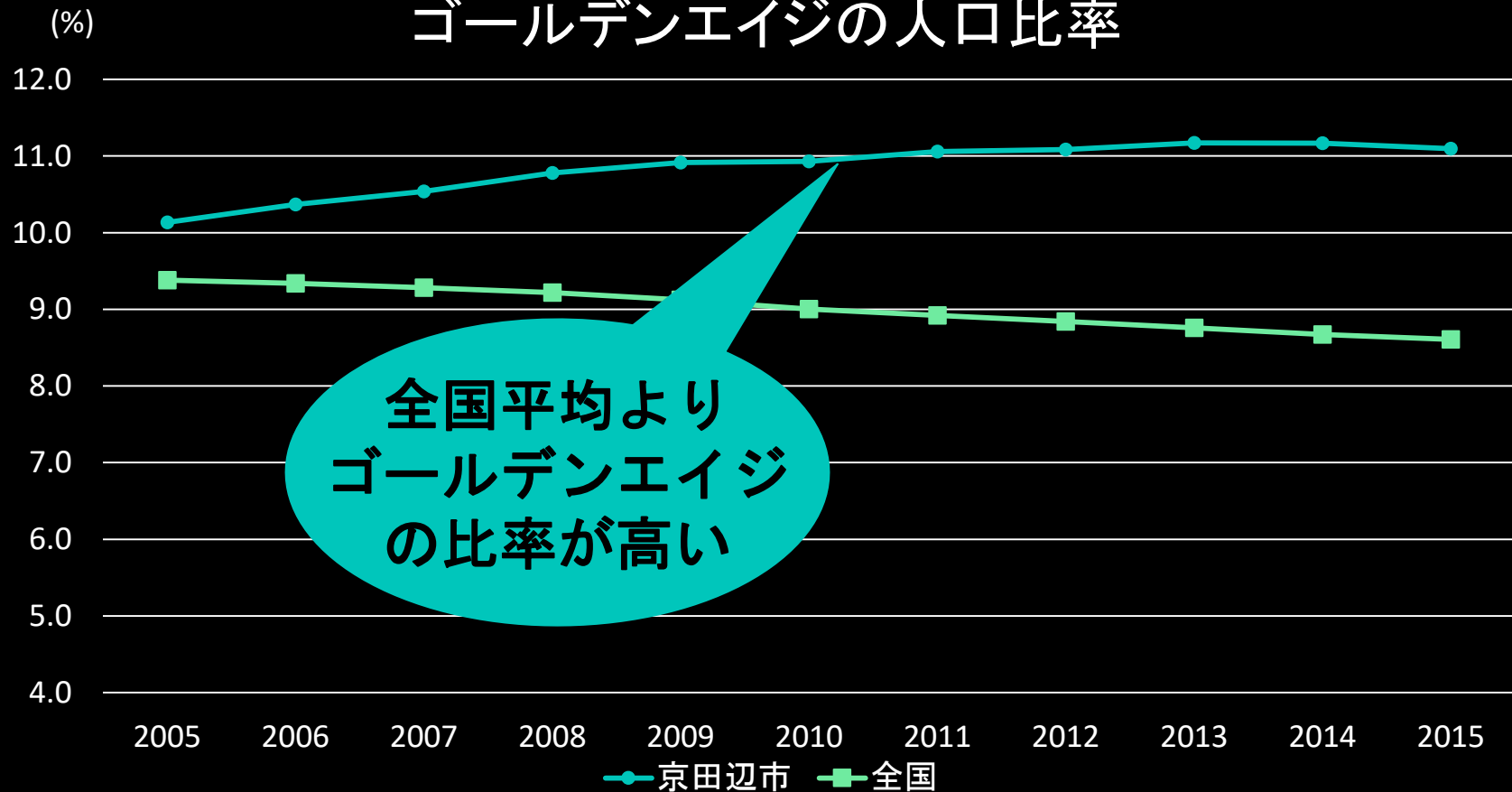


■ 市民登録者数

登録者数は
減少傾向

ゴールデンエイジ^(注)の現状

ゴールデンエイジの人口比率



全国平均より
ゴールデンエイジ
の比率が高い

(参照)

- 京田辺市年齢別人口
<https://www.kyotanabe.jp/0000002065.html>
- 総務省統計局「人口推計の結果の概要」
<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/2.html>

(注)

- 京田辺市、全国ともに10月1日現在の人口。
- ゴールデンエイジは本来7歳から12歳であるが、統計の都合上5歳から14歳の人口として集計。

京田辺市の児童の学習習慣

京田辺市教育委員会の報告書より

「…読解力の育成とも深い関係がある読書に関する質問については、小中学校ともに全国と比べ**読書時間の割合が低く**、読書を全くしない子供もいます。…」

→**読書習慣に課題**

参照:「平成31年度(令和元年度)全国学力・学習調査の結果について」

http://www.kyotanabe.ed.jp/nc21/gakkou_k/htdocs/files/?action=cabinet_action_main_download&block_id=75&room_id=1&cabinet_id=1&file_id=101&upload_id=392



京田辺市立図書館の除籍本の現状

除籍
本数

年間平均1.6万冊の本が除籍本化

活用
方法

ホンデリング事業で個人 or 法人の手に

- 
- 再利用はされるが利用先が一部に限定
 - 循環性が欠如

2-1. まちじゅう図書館

課題と方向性

①読書習慣の欠如

- ・ 市内全域に本と触れる**機会を創出**。

②未活用および循環しない除籍本

- ・ 除籍本を市内に配架、循環させることで**持続的な再利用を可能に**。

まちじゅう図書館の政策構造

目的

本に触れる機会増加と読書の促進

主体

市立図書館、市、事業所

対象

市民、ゴールデンエイジ(7~12歳)

手段

除籍本を置く事業所を図書館として市内に設置

まちじゅう図書館とは

まちじゅうに小さな本棚を設置し、まち全体を図書館と考えること



まちじゅう図書館の構造



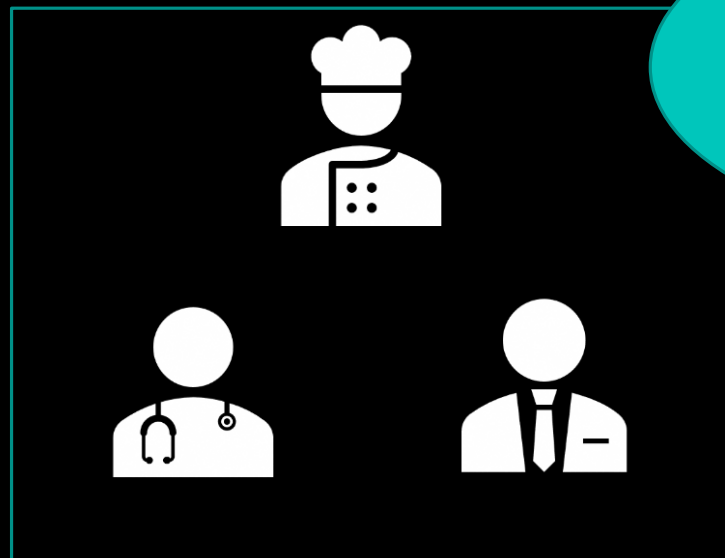
京田辺市立
中央図書館



除籍本

依頼

移譲



市内の希望する事業所

街中で本に
触れる機会の増加

訪問

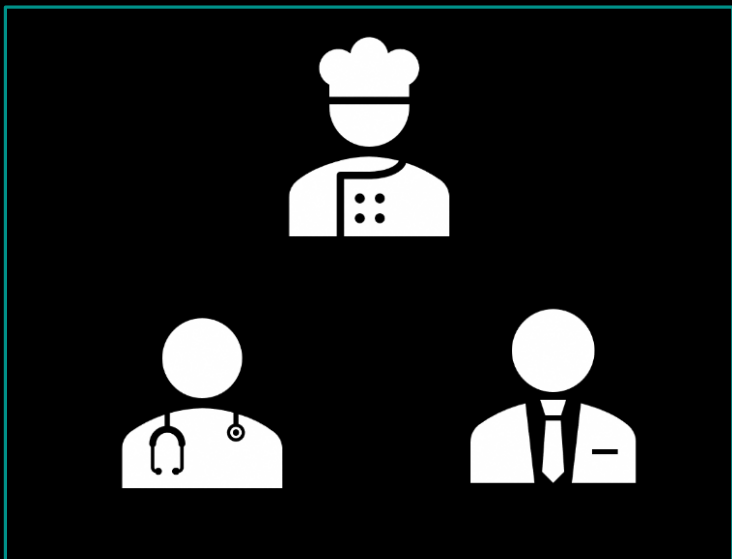


市民

図書館の対象と活動による効果の想定

希望する事業所(=図書館)

- ・カフェ
- ・病院
- ・レストランなどを想定



事業者の任意で本を設定

→ 本を介したコミュニティーの形成

希望する利用者へ事業所の任意で貸し出し

→ 本を読む機会の増加による読書の習慣化

まちじゅう図書館の公募手順

対象

京田辺市内の商店、飲食店、医療機関、公共施設など

時期

随時募集

方法

申込書・PR書の提出

2-2. 図書ビンゴ

課題と方向性

①貸出冊数の減少

- ・ ビンゴを目的とする来館者の増加
- ・ ビンゴを介し**読書習慣を身につけ**貸出増加へ

②ゴールデンエイジの増加に伴う事業

- ・ ゲーム性を求める年齢に該当

③読書ばなれ

- ・ ビンゴ達成のため読書するうちに**習慣化**

参考:ビンゴの集客効果

http://3media.biz/promotion/new_products_sales_promotion_event_tools_bingo_cards.html

ビンゴの政策構造

目的

読書の習慣化、読解力の向上

主体

市、市立図書館

対象

ゴールデンエイジを中心とした子供

手段

ビンゴを用いたゲーミフィケーション

ビンゴの対象年齢

対象年齢：未就学児～小学校高学年

未就学児の読書効果

読書の習慣化を目的とする

読書を習慣化している小学生の
52.0%、中高生の45.0%が「小
学校入学前から」読書の習慣が
あったと回答

小学生の読書効果

読書による学習効果を
一生涯のものとする

ゴールデンエイジは、幼児
期の2倍以上新たな言葉を
覚え、低学年より正確に語
句の意味をとらえる

図書ビンゴ(未就学児)

項目選定の理由

読み聞かせが就学後の読解力向上に役立ち、読み書きへの関心惹起につながる

読書の習慣化のため本に触れる機会を作る

読み聞かせが重要!

よみきかせを
してもらおう

ほんのなまえ:

えほんをよもう

えほんのなまえ:

ともだちおすすめのほん
をよんでみよう

ほんのなまえ:

まちじゅうとしょかん
に
いってみよう

おみせ:

すきなほんをよもう

ほんのなまえ:

すいせんとしょを
よんでみよう

ほんのなまえ:

ずかんをよもう

なにずかん:

よみきかせしてみよう

ほんのなまえ:

ほんをかりよう

ほんのなまえ:

クリアしたら本の題名を書こう!

図書ビンゴ(低学年用)

項目選定の理由

読書を通じたコミュニケーションの促進

インプットだけでなくアウトプットもさせることでより高い学習効果が期待できる

**本に関する
コミュニケーション！！**

読み聞かせに
参加しよう

本の題名:

物語を読もう

本の題名:

食べ物の本を
読んでみよう

本の題名:

街じゅう図書館に
行ってみよう

好きな本を読もう

本の題名:

他の人のおすすめ本を
読もう

本の題名:

図鑑を読もう

本の題名:

本の紹介文を
書いてみよう

本の題名:

図書館で本を借りて
読もう

本の題名:

クリアしたら本の題名を書こう！

図書ビンゴ(高学年用)

項目選定の理由

普段読まないジャンルを読むように誘導する。

「書くこと」「伝えること」を盛り込むことでゴールデンエイジにおける学力向上を図る。

読書の楽しさを実感しながら、習慣づけるようにする。

多様なジャンル、書く力、伝える力！

読み聞かせを
してみよう

本の題名：

自分の好きな本を
読もう

本の題名：

「歴史」の本を
読んでみよう

本の題名：

おすすめされた本を
読んでみよう

本の題名：

街じゅう図書館を
利用してみよう

本の題名：

「自然科学」の本を
読んでみよう

本の題名：

「文学」の本を
読んでみよう

本の題名：

読書感想文を
書いてみよう

本の題名：

好きな本を
紹介してみよう

本の題名：

クリアしたら本の題名を書こう！

ビンゴスタンプと景品

BINGO

ビンゴの入手

読書でスタンプ
ゲット
返却時に簡単なコメント
シート提出
記載されたイベントに参加
Et cetera...

達成で景品入手
配布場所
図書館
学区教育課

1 BINGO

› シール

3 BINGO

› しおり

COMPLETE

› 手提げバッグ

3. 事業効果

効果1: 読書をする人の増加

街中にある本をきっかけに読書家が増える
→波及効果として図書館利用者が増える。

現状課題の解決

効果2: 世代間交流の創出

まちじゅう図書館対象の事業所で読書交流会などのイベントを実施

対象: 訪れてくれる方々



内容: 読み聞かせ・本紹介・読書感想会



効果: 他の世代との交流の増加

ビンゴの効果

読解力、語彙力のある
知識豊かな子の育成

ビンゴの達成感が読書意欲を増進。
自分の好きなジャンルを中心に
読書習慣が身につく

読書をするきっかけづくり
ビンゴのために様々な本を
読むように

三段階効果

政策効果のまとめ

まちじゅう図書館の設置

- ・本を通じた世代間交流
- ・地域全体の読書への関心が向上

図書館利用者の増加



ゴールデンエイジにおける読書の習慣づけ

京田辺市内の
有能人材の育成

輝く未来の担
い手の創出！

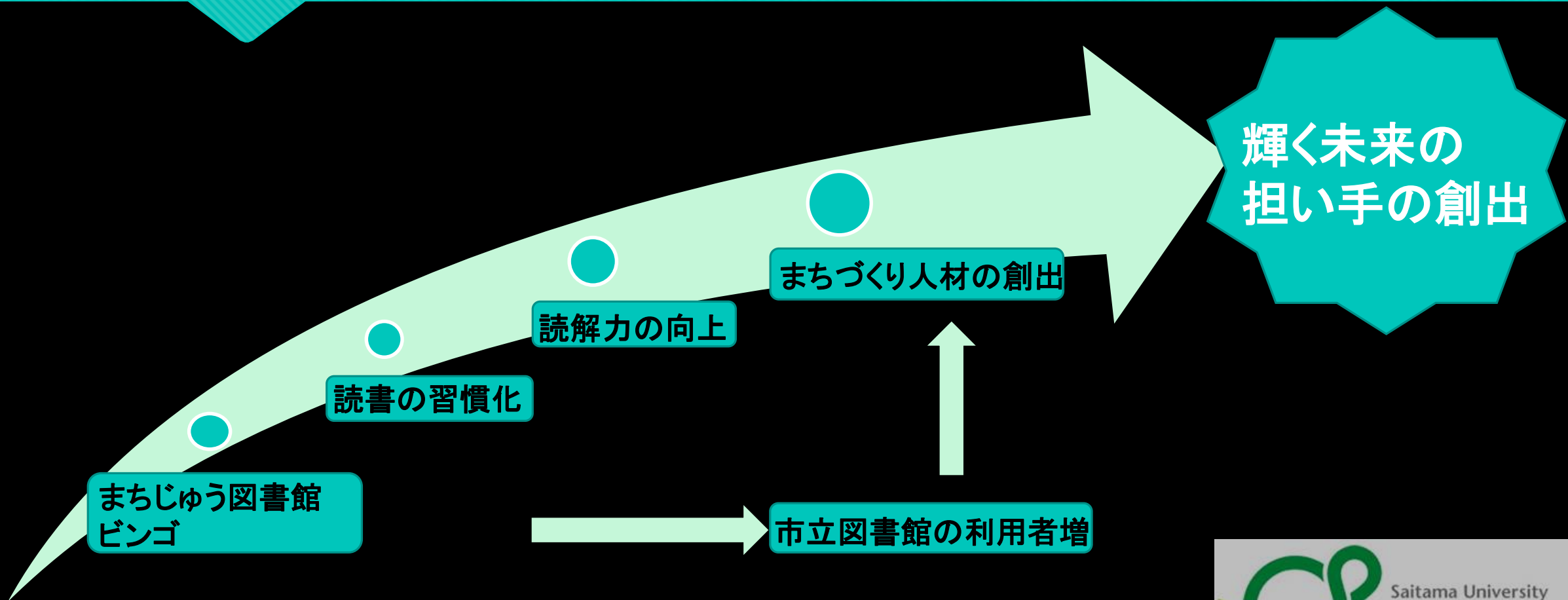
子どもの創造力・学
力の向上



ビンゴの活用

- ・ゲーミフィケーションによる読書インセンティブの獲得
- ・ジャンルレスな読書の推進

効果の展開イメージ



4. 事業費用

事業全体の費用

品目	個数	料金
ビンゴ印刷費	1000	3,000
本棚	15	35,385
送料	15	15,000
シール	1000	2,645
しおり	1000	2,900
バック	300	82,170

年間
計141,100円

謝辞

京田辺市
中央図書館
社会教育・スポーツ振興課
教育委員会こども・学校サポート室

ご協力
ありがとうございました